

森と湖に親しむ さくら湖自然教室

2005 開催

7月31日（日）さくら湖自然教室が開催されました。さくら湖自然教室とは、森と湖に親しむ区間（7月21日～7月31日）の一環として、森と湖実行委員会【三春ダム管理所、三春町、郡山市、田村市（船引町）】が行っているイベントです。さくら湖周辺の自然を体験し、また、水辺に親しむことにより水と緑の中でリフレッシュし水、緑、ダムそして川の重要性と水質保全の大切について、参加者の関心を高め、理解を深めてもらう事を目的として行っております。今年も56家族約160人の親子が参加し、自然教室（水上探検コース・水生生物観察コース・野鳥観察コース・昆虫観察コース）とダム施設見学が行われました。

自然教室

全4コース

水上探検コース・昆虫観察コース・水生生物観察コース・野鳥観察コース

水上探検コース



10人乗りのエボートでさくら湖を探検しました。ライフジャケットを装着しパドルを持って出発！みんなで協力して船を漕ぐのは大変そうでしたが、涼風を体に浴びて気持ち良さそうでした。

昆虫観察コース



向山森林公園でトラップの仕掛け方や虫の習性などを学びました。自然の中にいる虫を楽しそうに捕まえる子供達の姿が印象的でした。虫かごの虫達に木や葉を入れて大切にしていました。

水生生物観察コース



大滝根川上流（柴原）で、魚や水生生物の観察をしました。ウシガエルのおたまじゃくしやオニヤンマのヤゴ、どじょうなど多くの水生生物がいるのに驚いていました。産卵期のオイカワのオスの鮮やかな青い模様も見ることができました。

野鳥観察コース



さくら湖周辺で野鳥の特徴や見分け方、鳴き声などを勉強しました。野鳥の姿があまり見られず、生き物全般（虫、カエル等）の観察になってしましましたが、それはそれで楽しかったと思います。



さくら湖自然教室 2005

ダム施設見学

ダム施設見学は、自然教室の後に行われました。普段は入れない堤体内や操作室などの見学をしました。自然観察教室のコース別の4班に分かれて、ダム施設を見学しました。



【堤体見学】

エレベーターで65m下に行きました。昔の大滝根川がこの場所を流れていたことや、急な階段は西方渓谷という切り立った場所にダムを作ったことなどの説明をしました。30℃を越える蒸し暑い外気とは違い、堤体の中は年間を通して約10℃！さっさまでかいていた汗も一気に引っ込みました。



【水質試験室見学】

さくら湖の水はきれいなのか汚れているのか、なぜ汚れてしまうのかを簡単な実験をしてみました。子供達は、直接手を触れることができる実験（バックテスト）に強い興味を示していました。



【操作室見学】

三春ダムを動かす操作室を見学しました。色々大切な機械（気象観測装置や気象予測端末、操作卓）たくさんのボタンや画面に興味津々でした。放流の操作状況をリアルタイムで見たいという参加者もいました。



【ダム説明】

展望広場でダムの役割やさくら湖の水質を守るための施設（曝気施設）を水槽を使って説明しました。さくら湖の水が3層になっていることや、下から空気を吹き上げ水を攪拌させて植物プランクトンが増えるのを防ぐ働きがあることを勉強しました。参加者のお父さんから「水槽の水はどうやって3層に分けているんですか？」など多くの質問がありました。



当日は30℃を越える暑さ、冷たいアイスで喉を潤しました。

会場の様子



インストラクターのみなさんご協力ありがとうございました。



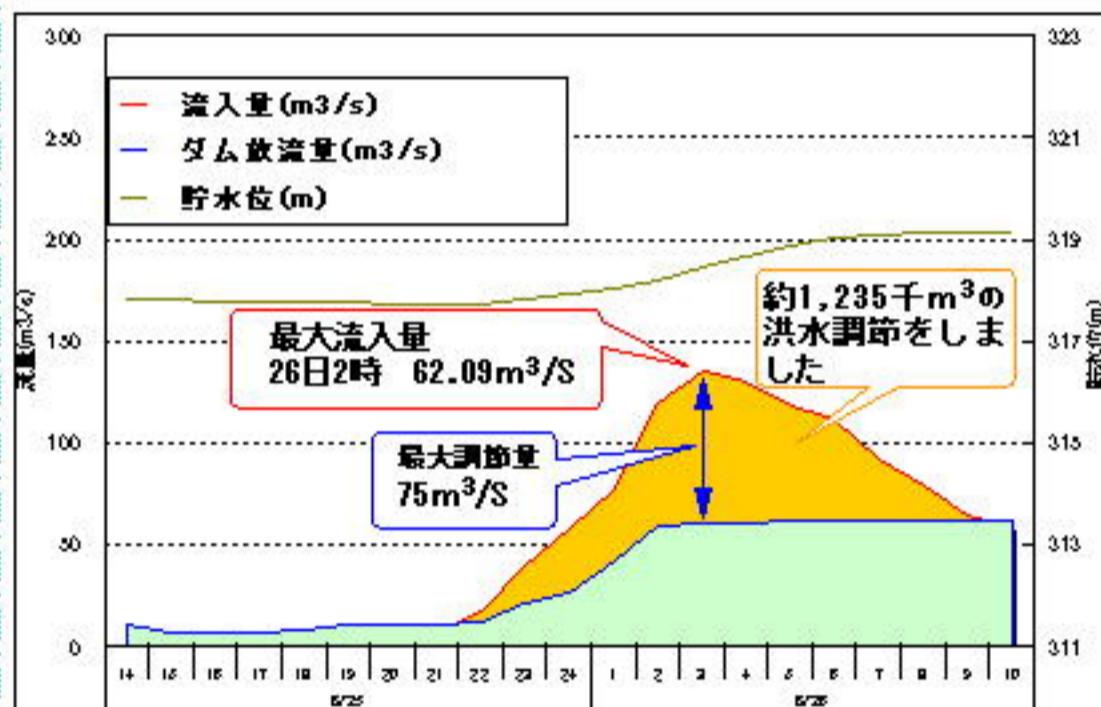
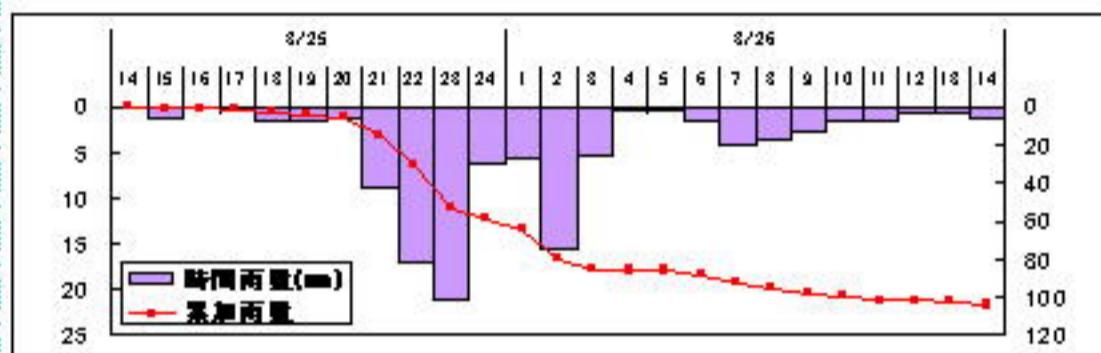
「どんな虫を捕ったの？」
お友達の捕った虫達の大ささや種類を比較していました。

台風11号出水対応

今年度は非常に強い台風が各地で災害を引き起こしています。今回は、8月25~26日に掛けて三春ダム付近を通過した台風11号についての経過を述べさせて頂きます。

平成17年8月25日昼過ぎよりダム上流に降り始めた雨は、次第に雨脚が強まり18時30分に大雨洪水注意報、21時27分に大雨洪水警報が発表されました。三春ダムでは26日1時40分に洪水量(100m³/s)を超え、26日2時50分に最大流入量138m³/sを記録しました。降り始めからの流域平均総雨量は106mm、1時間での最大雨量は25日23時の21.2mmでした。

最近の雨の降り方は、短時間で非常に強く降るため河川の水位上昇が早く非常に危険です。ダムから放流を行う場合は三春ダム～阿武隈川合流点までサイレンや警報を流しますので注意して下さい。今後も三春ダムでは出水に備えて頑張って行きます。



台風11号における三春ダムの効果について



宮城県沖を震源とする地震による被害はありませんでした。

8月16日11時46分頃発生した地震により、三春ダム管理所では災害対策支部（警戒体制）を設置し臨時点検を実施しました。地震発生直後に実施した一次点検（主として目視によるダム堤体の外観点検）と、引き続き実施した二次点検（一次点検に、計測項目、貯水池周辺地山、水質対策施設、放流警報設備に関する項目などを加えた点検）の結果、異常は認められませんでした。

メダカ観察日記 Part 3

（メダカ観察日記 Part 2のつづき・・・）
無事越冬し（34匹中2匹死亡、生存率94%）、
今度は繁殖の準備です。

しかし、メダカの繁殖方法など知る由もなく、本屋に行っても金魚や熱帯魚については数種の参考書がある程度、メダカについては記載されておりません。

そこで、困った時のインターネット。メダカで検索していくと、あるわあるわの大盤振る舞い。どれを見るかと思っていると、決め手になった著者の名前「目高達郎」メダカのことは目高に学べとばかりに読んでいくと、水温が適正で有れば産卵は冬でも出来、「なんかとっても楽ですよ」ということが書いてあります。

とりあえず、今必要なものは産卵場所となる浮き草だけど、周辺にあるのはコウキクサ位で根が短くて使い物にならないだろうな？

結局D+Yへ、（近所に金魚屋さん）無いもので有りましたよ、ホテイアオイとボタン浮き草・・・、見慣れている&昔は水質浄化植物の位置づけだったこともありホテイアオイを購入し、しばらく様子を見ることとしました。

2週間程度経過したある日、管理所の女性達から「卵をつけたメダカがいる」浮き草も入っているのにそんな訳ないだろと思いつつ確認すると・・・いました。確かに卵を腰（魚に腰はないだろ）にぶら下げている奴が2匹ほど。なんで？？？目高氏の書籍を見ると、たまにそんな奴がいるそうな・・・、あらためて浮き草を見ると、あら、卵がいっぱいだよ。再度書籍確認、卵は親が食べてしまうこともあると記載が、あわてて別の水槽に浮き草を移動。温度管理を怠らなければ、10日から2週間程度で孵化するらしい。

無事に卵がかえるかは、以下次号。

ミーチャン&みかくんの

なぜ? なに? さくら湖

Q. さくら湖では釣りができますか? どんな魚がいますか?

A. ダム湖内で釣りをすることは一部の禁止区域(管理施設の影響範囲)を除き可能です。漁業権が設定してありますので、釣りを行うときは漁協からの遊魚券が必要になります。また、ダム湖の中にいる魚の主なものは、コイ、フナ、オイカワ、ニゴイ、タナゴ、モツゴ、アブラハヤ、トウヨシノボリなど多くの魚達が生息して

います。その他、ブラックバスやブルーギルなども生息しているようです。

資料館1階の水槽では、大滝根川に住む魚達を観ることができます。



コイ、フナ、オイカワ、
タナゴ、トウヨシノボリ
などが元気に泳いで
います



自然観察ステーションからのお知らせ

●星を見る会●

10月14日(金)、22日(土)、28日(金)

午後7時~午後9時

月や秋の星雲・星団を観察します。

●秋の味覚を味わおう●

10月22日(土) 午前10時~午後0時30分

ステーション周辺の森を散策します。

…お問い合わせは…

さくら湖自然観察ステーション

0247-61-1546

三春交流館まほら

0247-62-3837



7月の見学者

7月5日(火) 葛尾村立葛尾小学校

4年生 17名

7月8日(金) 痕田地区委員、自治公民館連絡
協議会(米沢より) 40名

7月11日(月) 中央女性理容女性部 47名

7月13日(水) 全水道福島県支部青年女性部
18名



三春ダム見学のご案内

「三春ダムができるまで」やダムの役割、仕組みや周辺施設のご案内など無料で見学案内を致しております。

ダム見学案内については、事前の申込が必要です。0247-62-3145水質係までご連絡下さい。

編集後記



さくら湖周辺のススキや萩の花、桜の木々も少しづつ色付き始め秋の訪れを感じさせてくれる今日この頃です。過ごしやすい季節ですが、昼と夜の寒暖の差が大きく風邪を引きやすい時期もあります。体調管理を万全に秋を満喫しましょうね。

石井

資料館からのお知らせ

森と湖に親しむ さくら湖自然教室2005 写真展 開催中



自然教室やダム見学など
さくら湖自然教室の様子を
ご紹介しています。



三春ダム資料館では、1階展示ギャラリー
へ展示する作品を募集しております。

(展示スペースは、無料でお貸しします。)

詳しくは、0247-62-3145 三春ダム管理所 水質係
まで、ご連絡ください。

編集・発行

国土交通省
東北地方整備局
三春ダム管理所

皆様のご意見や情報の提供を
お待ちしております。

〒963-7722

福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内403-4

TEL0247-62-3145 FAX0247-62-3170

ホームページアドレス

<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu/>